

介護労働者養成機関修了者の追跡調査に関する研究

平成 12 年度報告書

本調査研究は、平成 11 年度を初年度とする 3 ヶ年計画であり、本年度は、平成 11 年度調査回答者 1,256 名に追加調査者 520 名を加えた 1,776 名を対象にアンケート調査を実施し、1,328 名から回答を得た。その結果、約 6 割が介護関係の仕事に従事している。介護労働に従事する理由は「介護の仕事が好き」「人の役に立つ」などが多いこと等の知見を得ることができた。

研究委員会メンバー

(主 査)安 藤 孝 敏	横浜国立大学教育人間科学部 助教授
(委 員)朝 日 雅 也	埼玉県立大学保健医療福祉学部 講師
野 口 一 重	日本福祉大学 経済学部 助教授
林 秀 一	林事務所 代表
今 井 和 浩	(株)明治生命 F S 研究所 研究員
(事務局)野 村 雄三郎	(財)雇用開発センター 常務理事
川 上 方 満	(財)雇用開発センター 研究調査部長
田 島 博 実	(財)雇用開発センター 研究調査課長

目 次

はじめに

第 1 章 調査の目的

第 2 章 調査の概要

第 3 章 調査結果

第 4 章 考察

第 5 章 平成 13 年度の調査計画

補 論 追加調査結果

資料編

調査の対象及び内容

(1) 「介護労働者養成機関等修了者の介護労働への就労状況調査」

調査時期 : 平成 12 年 9 月

調査対象 : 平成 11 年度調査回答者 (1,256 名) に追加調査者 520 名を加えた 1,776 名

回収数 : 1,328 名 (有効回収率 : 74.8%)

調査内容 : 養成研修修了後の介護職としての就労状況、離転職及び不就労の理由、今後の就労継続意向

(2) ヒアリング調査

調査対象 : アンケート調査回答者の中から、現在の介護職としての就労状況と今後の就労継続意向の分類に基づき対象者を選定。